

最新の研究成果を一堂に展示 ～テクノフェア2018開催される～

技術開発本部では、2018年10月11日（木）から12日（金）の2日間、恒例のテクノフェア2018を開催いたしました。

今回は「みなさまと つなぐ・つながる エネルギー 一歩先に行く挑戦」をテーマに掲げ、みなさまと一緒にエネルギーの未来を考えるひと時となるよう、内容を「原子力安全技術に関する取り組み」、「新たな時代の安定供給」、「新たなエネルギーサービスの創出」ならびに「エネルギー事業を支える基盤技術」にグループ分けし、パネル・模型の展示や実演により、紹介しました。昨年に引き続き（一財）電力中央研究所の研究紹介やグループ会社の技術紹介もしました。

今回は、新たなエネルギーサービスに関する展示会場のスペースを拡大し、人に代わって仕事をするロボティクス【自走型多関節ロボット（ヘビ型ロボ）】を活用した配管内部の点検技術の紹介や、これからのお客さまのライフスタイルにお応えしていく新たなサービスとして、お客さまが自ら発電した電気を様々な形で取引できる場とし「これからデンキ」のサービス等を紹介しました。

また、ICT・IoT・AIを積極的に活用した技術開発では、ドローンとAIを活用した自動巡視や画像解析の取り組みを紹介しました。当日、配電設備への巡視点検の飛行デモを行い、その映像中継をご覧いただきました。

地域各界のリーダーや各企業・研究団体のみなさま、学校関係者など、昨年に続き3千人を超える方々にご来場いただきました。

今後も最新の研究成果等を紹介し、お客さまに喜ばれるフェアとしていきます。次回も多数のみなさまのご来場をお待ちしております。



研究者の説明を聞く勝野社長



浜岡原発の安全性向上の取り組みを紹介



ドローンを使って実演



ヘビ型ロボットの活用・説明



グループ会社の展示



新サービス(販売)の紹介

今回展示の詳しい情報をご覧いただけます。

http://www.chuden.co.jp/corporate/study/stu_torikumi/techno/techno_naiyou2018/index.html